

Castelo Mendo

について



写真: Aldeias Históricas de Portugal

カステロ・メンド

戦略上極めて重要な地点にある丘の頂上にあり、銅器時代と古代ローマ時代に作られた初期の要塞跡に築かれたカステロ・メンド（Castelo Mendo）は、サンショ1世（D. Sancho I）の命令により12世紀に建て替えられた塁壁に囲まれた歴史ある村です。

1229年、サンショ2世（D. Sancho II）は城の拡張を命じ、年3回の実施を条件として市を開くことを認める勅許を地元の住民に与えました。これはポルトガル全土で初めて定期的にかかれた市で、1281年、ディニス王（D. Dinis）は自由市場として毎年開くよう命じました。この市で当初使われていた倉庫はかつて市が開かれていた場所に今も残っています。

村の名称は、14世紀にディニス王によって任命された初代知事、D.メンド・メンデス（D. Mendo Mendes）に由来します。言い伝えによると、旧刑務所の壁の1つにメンドを表す石彫りの顔が取り付けられ、また近くの別の家にはメンドの妻、メンダ（Menda）の顔が彫られています。そのため、この家はカサ・ダ・メンダ（Casa da Menda）と呼ばれています。

6つの中世期の門（正門の脇には2匹の豚の彫刻が置かれています）を持つ塁壁で囲まれた村には、もともと2階建ての簡素な石造りで、1階は家畜用、2階は住居として使用されていた家が並んでいます。極めて狭い通りは村の防御を容易にしましたが、特にスペインとの戦いなど、ポルトガルが関わった様々な戦争の際には幾度もこの町が戦場となりました。

最近、この村の復興事業が始まり、徐々に当初の特徴を取り戻しつつあり、塁壁の中を訪れる旅行者に豊かで興味深い過去への旅を満喫する機会を提供しています。

問い合わせ先

ウェブサイト: <https://aldeiashistoricasdeportugal.com/aldeia/castelo-mendo/>

ソーシャルネットワーク <https://www.facebook.com/ALDEIASHISTORICASDEPORTUGAL>